



平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 タカラトミー

コード番号 7867 URL www.takaratomy.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小島 一洋

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員連結管理本部長 (氏名) 沓澤 浩也 TEL 03-5654-1548

四半期報告書提出予定日 平成30年11月13日 配当支払開始予定日 平成30年12月13日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績（平成30年4月1日～平成30年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	89,125	1.3	7,072	7.6	7,343	14.4	4,951	17.2
30年3月期第2四半期	87,975	14.7	6,572	153.4	6,419	297.4	4,226	605.3

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 8,551百万円 (88.4%) 30年3月期第2四半期 4,537百万円 (-%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	52.17	51.99
30年3月期第2四半期	45.08	44.55

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第2四半期	151,540	64,771	42.4	674.66
30年3月期	139,456	56,322	40.0	591.00

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 64,214百万円 30年3月期 55,757百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
31年3月期	—	7.00	—	—	—
31年3月期（予想）	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	178,500	0.6	13,500	2.3	13,500	8.7	8,500	6.8	89.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料11ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	96,290,850株	30年3月期	96,290,850株
② 期末自己株式数	31年3月期2Q	1,110,718株	30年3月期	1,947,313株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	94,910,366株	30年3月期2Q	93,740,635株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

今後の見通しにつきましては、5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	11
(セグメント情報)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(平成31年3月期第2四半期連結累計期間におけるハイライト)

<ul style="list-style-type: none"> 売上高は、国内における定番商品や新規商品などの玩具販売が好調に推移したことに加え、「ベイブレードバースト」の海外向け輸出などが増加したことにより、前年同期を上回るとともに、過去最高に迫る89,125百万円(前年同期比1.3%増)となりました。 利益面については、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益ともに、過去最高益を計上することができました。 営業利益は、7,072百万円(前年同期比7.6%増)となりました。売上高の増加にともなう売上総利益の増加によるものです。 経常利益は、営業利益の増加に加え、為替差益が増えたことにより、7,343百万円(前年同期比14.4%増)を計上することができました。 親会社株主に帰属する四半期純利益は、経常利益が増加したことにより、4,951百万円(前年同期比17.2%増)となりました。 国内市場では、定番商品の「プラレール」においてテレビアニメ「新幹線変形ロボ シンカリオン」関連商品の販売が好調に推移するとともに、「リカちゃん」ではドールやハウス商品などが好評を得ました。また、トレーディングカードゲーム「デュエル・マスターズ」は商品力を強化した効果もあり人気を集めました。さらに、夏から商品展開を開始した「L.O.L. サプライズ!」が好評を博しました。 TOMY Internationalグループにおいては、農耕車両玩具が堅調に推移するとともに、日本開発商品である「Printoss(プリントス)、海外商品名:KiiPix」の展開を開始いたしました。一方、キャラクター関連玩具の販売が減少したことなどから、売上高は減少いたしました。

(経営成績の概況)

<セグメント別業績の概況>

(単位:百万円)

	平成30年3月期 第2四半期	平成31年3月期 第2四半期	増減	増減率(%)
売上高	87,975	89,125	1,150	1.3
日本	73,799	74,616	817	1.1
アメリカズ	12,273	9,735	△2,538	△20.7
欧州	3,704	2,857	△847	△22.9
オセアニア	1,154	957	△197	△17.1
アジア	30,887	29,709	△1,177	△3.8
消去又は全社	△33,845	△28,751	5,093	—
営業利益又は営業損失(△)	6,572	7,072	500	7.6
日本	6,642	8,119	1,477	22.2
アメリカズ	132	△31	△163	—
欧州	△45	△321	△275	—
オセアニア	25	25	△0	△0.4
アジア	806	523	△282	△35.1
消去又は全社	△988	△1,244	△255	—

<日本>

(単位：百万円)

	平成30年3月期 第2四半期	平成31年3月期 第2四半期	増減
売上高	73,799	74,616	817
営業利益	6,642	8,119	1,477

日本では、定番商品である「プラレール」において、1月より放送中のテレビアニメ「新幹線変形ロボ シンカリオン」関連商品の販売が好調に推移するとともに、前年50周年を迎えた「リカちゃん」のドールやハウス商品などが周年企画を終えた今年も引き続き好評を博しました。

また、トレーディングカードゲーム「デュエル・マスターズ」においては、カード内容を見直すなど商品力を強化した効果もあり、人気を集めました。さらに、次世代ベージュ「バイブレードバースト」が海外で人気を呼び、日本からの輸出が大幅に伸びました。

新規商品においては、フォトジェニックなサプライズドール「L.O.L. サプライズ！」が国内累計出荷数100万個を突破し、小学生女兒を中心としたヒット商品となるなどガールズ関連商品の販売が伸びました。

4月から女兒向け特撮テレビシリーズ第2弾となる「魔法×戦士 マジマジョピュアーズ！」、7月には恐竜や動物をモチーフとした男児向けリアルムービングキット「ゾイドワイルド」のテレビ放送をスタートさせるなど、自社コンテンツの展開と関連商品の販売を積極的に進めております。

（株）タカラトミーアーツにおいては、アミューズメントマシン「ポケモンガオーレ」が引き続き好評を得るとともに、OEM製品の出荷が伸びました。

なお、当初夏に予定されていた映画公開が12月になったことにより「トランスフォーマー」映画関連商品の海外向け輸出は減少しました。

以上により、売上高は74,616百万円（前年同期比1.1%増）となり、営業利益は8,119百万円（同22.2%増）と大幅に増加しました。

<アメリカ>

(単位：百万円)

	平成30年3月期 第2四半期	平成31年3月期 第2四半期	増減
売上高	12,273	9,735	△2,538
営業利益又は営業損失(△)	132	△31	△163

アメリカにおいては、新商品の開発など主力ブランドの強化に取り組んでおります。また、農耕車両玩具の販売が堅調に推移するとともに、日本において開発し人気商品となっているスマホの写真を手軽にプリントできる「Printoss(プリントス)、海外商品名：KiiPix」を新たに市場投入いたしました。売上高は、キャラクター玩具の販売が減少したことにより、9,735百万円（前年同期比20.7%減）、営業損失は31百万円（前年同期営業利益132百万円）となりました。

<欧州>

(単位：百万円)

	平成30年3月期 第2四半期	平成31年3月期 第2四半期	増減
売上高	3,704	2,857	△847
営業損失(△)	△45	△321	△275

欧州においては、農耕車両玩具が好調に推移いたしました。また、「Printoss(プリントス)、海外商品名：KiiPix」は、イギリス・フランス・ドイツなど7か国で展開を開始いたしました。一方、キャラクター玩具の販売が減少したことにより、売上高は2,857百万円（前年同期比22.9%減）となりました。また、一部商品の値引き販売による売上総利益の減少などにより、営業損失は321百万円（前年同期営業損失45百万円）となりました。

<オセアニア>

(単位：百万円)

	平成30年3月期 第2四半期	平成31年3月期 第2四半期	増減
売上高	1,154	957	△197
営業利益	25	25	△0

オセアニアにおいては、農耕車両玩具やベビー用品の販売が堅調に推移するとともに、「Printoss(プリントス)、海外商品名：KiiPix」を展開したものの、キャラクター関連玩具の販売が減少したことから、売上高957百万円（前年同期比17.1%減）、営業利益25百万円（前年同期比0.4%減）となりました。

<アジア>

(単位：百万円)

	平成30年3月期 第2四半期	平成31年3月期 第2四半期	増減
売上高	30,887	29,709	△1,177
営業利益	806	523	△282

アジアにおいては、韓国、香港、台湾をはじめとした各地でテレビアニメを放送している次世代ベージュ「ベイブレードバースト」が、大規模なイベントを行うなどのマーケティング施策が奏功し好評を博しております。また、アジア地域で広く展開しているトミカにおいては、マーケティングの強化により、販売が堅調に推移しております。さらに、韓国において8月より「ゾイドワイルド」の玩具展開をスタートさせるとともに、9月には中国で「リカちゃん」関連商品の販売を開始しました。加えて、アジアにおける自社コンテンツ展開として、3月より順次、韓国、中国、タイにて女兒向け特撮シリーズ「アイドル×戦士 ミラクルちゅーんず！」のテレビ放送を開始するとともに、テレビアニメ放送「トミカハイパーレスキュー ドライブヘッド 機動救急警察」を韓国、香港、台湾、タイにて展開いたしました。売上高は、生産子会社であるTOMY (Hong Kong) Ltd.における欧米向け出荷が減少したことなどにより、29,709百万円（前年同期比3.8%減）、営業利益は523百万円（同35.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

[資産、負債及び純資産の状況]

<資産>

流動資産は、前連結会計年度末に比較して11,035百万円増加し、99,065百万円となりました。これは主として、受取手形及び売掛金、商品及び製品が増加したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比較して1,056百万円増加し、52,468百万円となりました。これは主として、投資その他の資産が減少した一方で、無形固定資産が増加したことによるものです。

<負債>

流動負債は、前連結会計年度末に比較して4,642百万円増加し、57,980百万円となりました。これは主として、未払費用が減少した一方で、支払手形及び買掛金、未払法人税等が増加したことによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比較して1,007百万円減少し、28,788百万円となりました。これは主として、リース債務が増加した一方で、長期借入金が減少したことによるものです。

<純資産>

純資産は、前連結会計年度末に比較して8,449百万円増加し、64,771百万円となりました。これは主として、利益剰余金、為替換算調整勘定が増加したことによるものです。

[キャッシュ・フローの状況]

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」)は、前連結会計年度末に比較して202百万円減少し、46,003百万円となりました。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

営業活動によるキャッシュ・フローは、4,008百万円の収入(前年同四半期は2,857百万円の支出)となりました。これは主として、売上債権の増加5,451百万円、たな卸資産の増加2,061百万円等があった一方で、税金等調整前四半期純利益7,422百万円、仕入債務の増加3,816百万円等があったことによるものです。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動によるキャッシュ・フローは、2,494百万円の支出(前年同四半期は2,045百万円の支出)となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出1,960百万円、無形固定資産の取得による支出660百万円等があったことによるものです。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動によるキャッシュ・フローは、2,149百万円の支出(前年同四半期は14,108百万円の支出)となりました。これは主として、短期借入金の純増609百万円、自己株式の処分による収入526百万円等があった一方で、ファイナンス・リース債務の返済による支出1,606百万円、長期借入金の返済による支出1,531百万円等があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年5月11日に公表いたしました業績予想につきましては、修正を行っております。具体的な内容につきましては、平成30年10月26日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	46,302	46,103
受取手形及び売掛金	23,582	29,388
商品及び製品	12,888	15,172
仕掛品	393	444
原材料及び貯蔵品	1,045	1,094
その他	4,037	7,082
貸倒引当金	△219	△220
流動資産合計	88,030	99,065
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,748	12,762
減価償却累計額	△7,919	△8,081
減損損失累計額	△408	△410
建物及び構築物（純額）	4,420	4,269
機械装置及び運搬具	2,513	2,544
減価償却累計額	△1,770	△1,808
減損損失累計額	△17	△17
機械装置及び運搬具（純額）	726	718
工具、器具及び備品	22,926	23,571
減価償却累計額	△20,727	△21,414
減損損失累計額	△589	△585
工具、器具及び備品（純額）	1,609	1,571
土地	3,991	3,961
リース資産	7,174	8,473
減価償却累計額	△3,313	△3,742
減損損失累計額	△0	△0
リース資産（純額）	3,860	4,731
建設仮勘定	661	297
有形固定資産合計	15,269	15,550
無形固定資産		
のれん	18,006	18,513
その他	10,663	11,043
無形固定資産合計	28,670	29,557
投資その他の資産		
投資有価証券	3,054	3,298
繰延税金資産	2,147	1,651
その他	2,738	2,872
貸倒引当金	△468	△461
投資その他の資産合計	7,472	7,361
固定資産合計	51,412	52,468
繰延資産		
社債発行費	13	6
繰延資産合計	13	6
資産合計	139,456	151,540

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,976	14,136
短期借入金	7,631	8,285
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	3,062	3,062
リース債務	2,642	3,124
未払金	8,051	7,780
未払費用	8,220	7,356
未払法人税等	1,726	2,682
引当金	736	582
その他	1,288	969
流動負債合計	53,338	57,980
固定負債		
長期借入金	22,098	20,567
リース債務	1,217	1,827
繰延税金負債	1,078	1,136
再評価に係る繰延税金負債	472	472
引当金	497	502
退職給付に係る負債	2,693	2,642
その他	1,737	1,640
固定負債合計	29,795	28,788
負債合計	83,134	86,768
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,459	3,459
資本剰余金	9,095	9,135
利益剰余金	35,881	40,133
自己株式	△1,271	△725
株主資本合計	47,165	52,003
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,083	1,251
繰延ヘッジ損益	△140	772
土地再評価差額金	585	624
為替換算調整勘定	7,727	10,229
退職給付に係る調整累計額	△664	△667
その他の包括利益累計額合計	8,591	12,210
新株予約権	175	149
非支配株主持分	389	408
純資産合計	56,322	64,771
負債純資産合計	139,456	151,540

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	87,975	89,125
売上原価	52,711	53,116
売上総利益	35,263	36,008
販売費及び一般管理費	28,691	28,936
営業利益	6,572	7,072
営業外収益		
受取利息及び配当金	107	112
為替差益	18	253
受取賃貸料	76	74
その他	65	142
営業外収益合計	269	583
営業外費用		
支払利息	280	181
その他	140	129
営業外費用合計	421	311
経常利益	6,419	7,343
特別利益		
固定資産売却益	18	3
新株予約権戻入益	8	16
出資金売却益	—	165
特別利益合計	26	185
特別損失		
減損損失	16	99
貸倒引当金繰入額	385	—
その他	0	7
特別損失合計	403	106
税金等調整前四半期純利益	6,043	7,422
法人税等	1,798	2,452
四半期純利益	4,244	4,970
非支配株主に帰属する四半期純利益	17	19
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,226	4,951

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	4,244	4,970
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	191	168
繰延ヘッジ損益	66	913
為替換算調整勘定	1	2,501
退職給付に係る調整額	33	△3
その他の包括利益合計	293	3,580
四半期包括利益	4,537	8,551
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,518	8,531
非支配株主に係る四半期包括利益	18	19

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,043	7,422
減価償却費	4,001	3,388
減損損失	16	99
のれん償却額	719	714
新株予約権戻入益	△8	△16
出資金売却益	—	△165
貸倒引当金の増減額(△は減少)	408	△40
引当金の増減額(△は減少)	△110	△165
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△281	△23
受取利息及び受取配当金	△107	△112
支払利息	280	181
為替差損益(△は益)	△334	△54
有形固定資産売却損益(△は益)	△17	△3
売上債権の増減額(△は増加)	△9,070	△5,451
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,391	△2,061
前払費用の増減額(△は増加)	△338	△725
仕入債務の増減額(△は減少)	3,249	3,816
未払金の増減額(△は減少)	△642	319
未払費用の増減額(△は減少)	△489	△1,016
その他	△830	△488
小計	△901	5,618
利息及び配当金の受取額	106	111
利息の支払額	△279	△182
法人税等の支払額	△1,782	△1,539
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,857	4,008
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,416	△1,960
無形固定資産の取得による支出	△569	△660
出資金の売却による収入	—	165
その他	△58	△38
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,045	△2,494
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	453	609
長期借入金の返済による支出	△14,085	△1,531
配当金の支払額	△465	△658
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,505	△1,606
自己株式の処分による収入	594	526
セール・アンド・リースバックによる収入	905	511
その他	△4	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△14,108	△2,149
現金及び現金同等物に係る換算差額	75	433
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△18,935	△202
現金及び現金同等物の期首残高	58,530	46,206
現金及び現金同等物の四半期末残高	39,594	46,003

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	アメリカズ	欧州	オセアニア	アジア	合計
売上高						
外部顧客への売上高	65,514	12,236	3,700	1,154	5,368	87,975
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8,285	37	4	—	25,518	33,845
計	73,799	12,273	3,704	1,154	30,887	121,820
セグメント利益又は損失(△)	6,642	132	△45	25	806	7,560

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	7,560
セグメント間取引消去	378
全社費用(注)	△1,367
四半期連結損益計算書の営業利益	6,572

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 地域に関する情報

(単位:百万円)

	日本	北米		その他	合計
			内 アメリカ		
売上高	53,407	17,266	16,161	17,301	87,975

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しています。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	アメリカズ	欧州	オセアニア	アジア	合計
売上高						
外部顧客への売上高	68,764	9,685	2,838	920	6,917	89,125
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,852	50	19	37	22,792	28,751
計	74,616	9,735	2,857	957	29,709	117,877
セグメント利益又は損失(△)	8,119	△31	△321	25	523	8,316

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	8,316
セグメント間取引消去	183
全社費用(注)	△1,427
四半期連結損益計算書の営業利益	7,072

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 地域に関する情報

(単位:百万円)

	日本	北米		その他	合計
			内 アメリカ		
売上高	56,161	16,794	15,542	16,168	89,125

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しています。